

社会情報教育研究センターの設置と e-learning 科目開発による 統計教育の改善

立教大学経営学部
山口和範

今日の内容

- はじめに
 - 立教大学の社会科学系学部における統計教育
 - 社会調査士資格の導入
- 社会情報教育研究センター
 - センター設置の趣旨
 - e-learning科目の展開
- 今後の課題

立教大学の現状

- 学部:10学部27学科8専修
 - 文学部、経済学部、理学部
 - 社会学部、法学部
 - 観光学部、コミュニティ福祉学部
 - 経営学部、現代心理学部
 - 異文化コミュニケーション学部

1学年:4800名程度

立教大学での科目展開

- 「統計」
 - 学部 144科目 (4599科目)
 - 大学院 27科目 (1285科目)
- 「データ分析」
 - 学部 30科目 (4599科目)
 - 大学院 19科目 (1285科目)
- 「社会調査」
 - 学部 36科目 (4599科目)
 - 大学院 12科目 (1285科目)

社会科学系学部での統計教育

- 背景
 - 統計の専門家を育てるわけではなく
 - 学部での専門科目や卒業研究に必要な場合も
 - 市民としてのリテラシー
- 課題
 - モチベーションの低さ
 - 数学的知識の低さ・毛嫌い

社会調査士資格科目導入

- 2004年度の卒業生より
 - 2000年度の開講科目より科目認定開始
- 社会学部(当時の3学科)で導入
 - 学科別に科目を設置
 - 科目シラバス等は、資格認定機構(当時)の承認
- 効果:履修希望者の増加
 - 資格志向学生で、かならずしも、統計を学びたいわけではない(その後の内容の大切さ)

2000年度開講科目 社会学部産業関係学科

- A: 社会調査法(前期)
- B: 社会調査法(後期)
- C: 統計学(前期)
- D: 統計学(後期)
- E: データサイエンス、統計ソフトウェア論
- F: 組織調査分析
- G: 社会調査実習 + 社会データ分析

2010年度開講科目 経営学部

- A: 社会調査法A
- B: 社会調査法B
- C: 統計学入門1
- D: 統計学入門2
- E: データサイエンス、多変量解析
- F:
- G: 社会調査実習

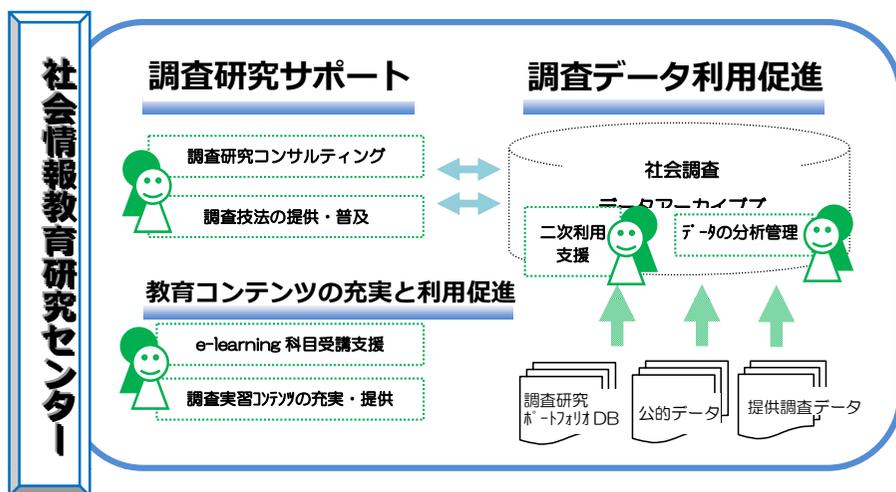
2009年度の現状

- 3学部で導入(主に調査による研究のため)
- 社会学部3学科
 - 社会学科、現代文化学科、メディア社会学科
- 経営学部(旧社会学部産業関係学科の流れ)
- コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科
- 2010年度からは、経済・観光も

社会情報教育研究センター

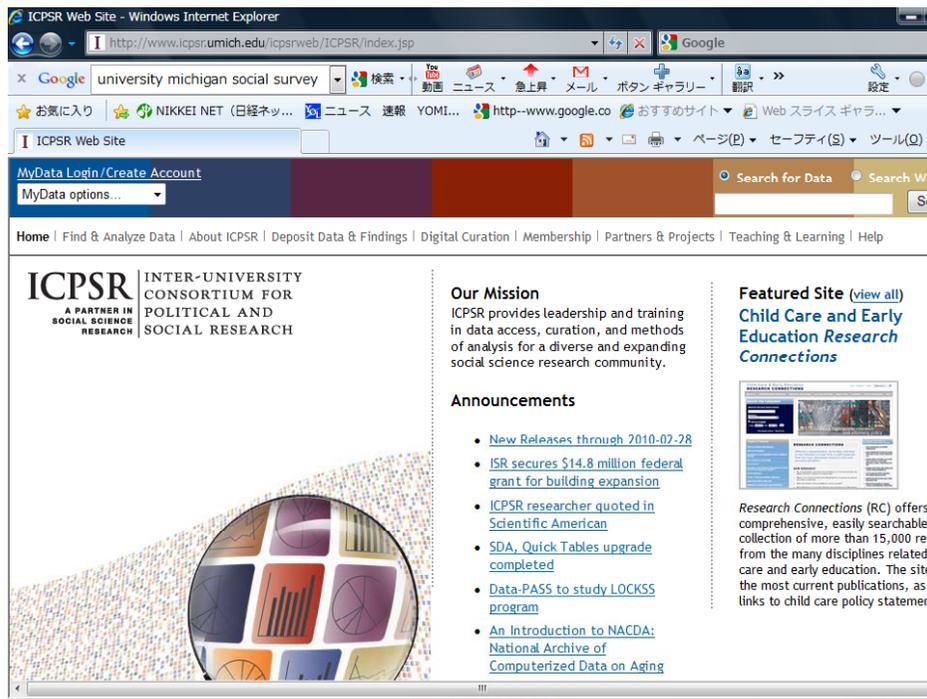
- 社会科学系学部での統計関連教育の重要性
- 全学的サポート体制の確立
- 教育内容の標準化
- 効率的な支援体制
- 社会情報教育研究センター設立へ
 - 文部科学省の「教育研究高度化のための支援体制整備事業」として設置準備
 - 2010年3月発足

社会情報教育研究センター



社会情報教育研究センター

- Center for Statistics and Information
- 三部会
 - 社会調査
 - 調査コンサル、調査データアーカイブ
 - 統計教育
 - 正課科目、セミナー
 - 政府統計利活用
 - 統計の二次利用等



ICPSRのミッション

- **Mission Statement**
- *ICPSR provides leadership and training in data access, curation, and methods of analysis for a diverse and expanding social science research community.*
- **Strategic Plan**
- ICPSR has a [Strategic Plan](#) to guide its work on behalf of the social science research community. The Plan lays out five strategic directions for ICPSR. These directions set the stage for ICPSR to make important contributions in areas such as confidentiality protection, archiving new forms of digital content, advancing the field of data curation, and much more.
- 国内: 28大学が会員
- ICPSR国内利用協議会(東京大学社会科学研究所)

e-learning科目

- 社会情報教育研究センターの提供科目として下記4科目を、全学共通カリキュラム科目として展開
 - A: 社会調査入門
 - B: 社会調査の技法
 - C: データ分析入門
 - D: データの科学
- 200名の定員で、全学部の学生を対象として

立教大学におけるオンデマンド科目

- 早稲田大学が中心としたオンデマンド授業流通フォーラムへ参加
- 大学間で、授業の流通の試みを行った
 - 授業公開による授業内容の質保証の試み
- 立教大学提供科目
 - 「青年期の自我と恋愛」、「平和と安全保障」
 - 「茶・虎そして人」、「聖書考古学入門」



質保証の観点での公開と検証

- 公開
 - 科目内容や教材についての公開
 - 教材の共同利用と科目改善
 - 統計関連科目担当者のフォーラム設置予定
- 検証
 - 教材・e-learning実施での効果の測定(?)

今後の課題

- 学生の統計学習へのモチベーションキープ
- 教育内容の標準化
 - 社会調査協会と同様の組織の必要性
 - 研究や専門教育に加え、市民に必要な知識としての「統計」の内容の吟味
 - 参考: Utts(2003) What Educated Citizens Should Know about Statistics and Probability, American Statistician, 57(2), 74-79.

講演会のおしらせ

- 3月8日16:00-18:00
- 立教大学池袋キャンパス8号館2階8202教室
- 「統計教育における質保証－英国と中国の事例から－」
- Gerald Goodall (RSS)
 - 「The Royal Statistical Society professional examinations and Chartered Statistician status」
- Yuan Wei (中国人民大学)
 - 「The Statistical Profession in China」